

ホームページもご覧ください
<http://rehabili.godream.ne.jp/>

特別講演 「リハビリテーション医学と臨床神経生理学」 16:20~17:20

講師 木村彰男(きむら あきお)先生 慶應義塾大学名誉教授

【演題概要】

リハビリテーション医学・医療において臨床神経生理学は、診断・評価においてはもちろんの事、機能的電気刺激、筋電図バイオフィードバックなどに代表されるように治療・訓練の場で幅広く用いられている。特に最近では、磁気刺激、IVES(随意運動介助型電気刺激)、BMIなどが、脳卒中の上肢機能回復に対し応用され、大きな成果を上げている。本講演では、リハビリ医学と臨床神経生理学の関わりをわかりやすく解説し、最近のトピックスについても言及したい。

【講師略歴】【略歴】

- 【現職】慶應義塾大学 名誉教授。医療法人社団アール・アンド・オー 名誉顧問
- 【専門】リハビリテーション医学、臨床神経生理学
- 【学歴・職歴】慶應義塾大学医学部卒業 1983年 米国アイオワ大学神経内科臨床電気生理学教室留学
2002年慶應義塾大学教授・月が瀬リハビリセンター所長 2015年慶應義塾大学名誉教授
- 【著書など】雑誌「総合リハビリテーション」編集顧問 脳卒中治療ガイドライン2009、合同委員会副委員長

静岡リハビリテーション懇話会にご参加の皆様へ

【参加者の皆様へ】

参加受付:4階 ロビー 12:00~ (演者受付は11:30~)

- ① 「参加受付表」に必要事項をお書き添えの上、「会員受付窓口」または「一般受付窓口」においでください。「団体別納」の皆様は、所属施設にご確認の上、必ず「団体受付」にお越しください。
- ③ いずれの場合にも参加費のお支払いと引き換えにネームカードとネームホルダーをお渡しいたしますので、ご着用ください。※参加費は一般3000円、会員2000円、学生1000円です。
- ④ 交流会にご参加の方はお申し出ください。※参加費は1000円です(軽食付)

年会費受付:

- ① 参加受付と同時に平成27年度および28年度の「年会費受付」を行っています。
- ② 「一般」でおいでになられた方も、年会費1000円をお支払いいただくと、その場で「会員」になることができ、参加費3000円が2000円になりますので、ご利用ください。(年2回開催されますのでお得です)

リハビリテーションに関連するすべての職種の皆様へ

<静岡リハビリテーション懇話会会員を募集中です>

1. **参加資格** リハビリテーション・医療・歯科医療・薬剤・栄養・福祉・介護などの分野に従事している方ならどなたでも。※会員特典 演題発表ができます。その他情報配布、参加費割引など。
2. **申込方法** ①ホームページの申込フォームに必要事項(氏名・住所・施設名・所属・職種)を入力して送信。
②必要事項をE-mailで送信。E-mailアドレス: anco@godream.ne.jp
③事務局にFAX。
3. **お問合せ** TEL:054-237-9625 FAX:054-237-5069 E-mail: areanetcom@gmail.com

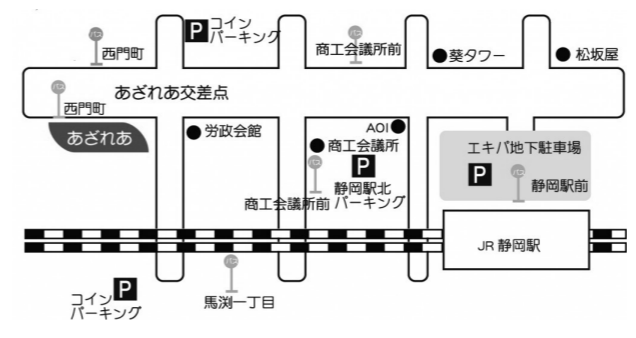
◎静岡リハビリテーション懇話会は、「日本作業療法士協会」「日本理学療法士協会」生涯教育制度単位付与対象学会・研修会に認定されています。【作業療法士会】参加:2ポイント 発表:2ポイント 講師:2ポイント 座長:士会裁量で1ポイント(但し、1年間に士会裁量は2ポイントまで)および社会貢献活動のひとつとして認可 【理学療法士会】<専門・認定理学療法士ポイント>学会参加: 10ポイント 発表:5ポイント<新人教育プログラム> 症例発表 C-6 「日本医師会」および「日本リハビリテーション医学会」専門医・認定臨床医生涯教育基準細則に基づく単位(10単位)

=静岡リハビリテーション合同学会=

第56回 静岡リハビリテーション懇話会

日時: 平成28年9月17日(土) 13:00より 受付開始 12:00
会場: 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
世話人: 門名弥寿子先生 静岡リハビリテーション病院 医師
 長谷川洋平先生 駿府の杜クリニック 理学療法士
責任者: 小嶋康則 静岡リハビリテーション病院・静岡富沢病院 医師

特別講演 講師 「リハビリテーション医学と臨床神経生理学」
木村彰男(きむら あきお)先生 慶應義塾大学名誉教授
 医療法人社団アール・アンド・オー 名誉顧問



【会場ご案内】 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
 TEL:054-255-8440
 在来線・新幹線ともJR静岡駅をご利用下さい。
 JR静岡駅からは徒歩で5~10分程です。
 ■東京方面から・・・東名高速静岡I.C. → 車で10 - 15分
 ■名古屋方面から・・・東名高速静岡I.C. → 車で10 - 15分

第56回静岡リハビリテーション懇話会概要

- | | |
|------|--------------------------------------------------|
| 主催 | 静岡リハビリテーション懇話会 |
| 共催 | 静岡県作業療法士会 静岡県理学療法士会 静岡県看護協会 |
| 会長 | 望月 達夫 (静岡医療福祉センター) |
| 世話人 | 門名 弥寿子 静岡リハビリテーション病院 長谷川 洋平 駿府の杜クリニック |
| 責任者 | 小嶋 康則 静岡リハビリテーション病院 |
| 事務局長 | 熊谷 範夫 (静岡リハビリテーション病院) |
| 後援 | 静岡リハビリテーション医学会 静岡県歯科医師会 静岡県 静岡県社会福祉協議会 静岡県医師会 |

一般演題 セッションA 6階大ホール

A-I 13:10~14:00 (歩行、装具、その他)

| | | | | |
|-------|------------------------------------------------------|-------|------------|---------------|
| A-I-1 | 車椅子のレッグサポートにより両下腿外側に褥瘡を生じた対麻痺患者の一例 | 滝田 拓巳 | 理学療法士 | 駿府の杜クリニック |
| A-I-2 | 呼吸同調器の使用有無により歩行時の酸素化に解離を認めたCPFE症例 | 小柳 慎介 | 理学療法士 | 静岡市立静岡病院 |
| A-I-3 | 意識障害を呈する患者の意思疎通の改善を図れた一症例 ~QOLの向上に向けた介入と脳の活性化に対する検討~ | 元木 貴也 | 理学療法士 | 静清リハビリテーション病院 |
| A-I-4 | 当院における脳卒中片麻痺患者の下肢装具作製の実態 ~下肢装具の作製、修理から考える装具作製時の説明~ | 田中 幸平 | 理学療法士 | 静岡リハビリテーション病院 |
| A-I-5 | 重度運動麻痺と右上肢痛によりADLが低下した症例へのアプローチ~患者のリハビリ意欲を支えるアプローチ~ | 勝岡 拓人 | リハビリテーション部 | 静清リハビリテーション病院 |

A-II 14:10~15:00 (QOL、終末期)

| | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------|--------|-------|------------------|
| A-II-1 | 臨床所見より運動負荷量を制限して介入した人工膝関節置換術後の症例 | 石橋 宏達 | 理学療法士 | 静岡リウマチ整形外科リハビリ病院 |
| A-II-2 | 円背患者に対するシーティング | 山本 紘也 | 作業療法士 | JA静岡厚生連 遠州病院 |
| A-II-3 | ハイヒール歩行獲得に向けて ~脊柱アライメントと立位バランスに着目した一症例~ | 鶴岡 さよ子 | 理学療法士 | 静清リハビリテーション病院 |
| A-II-4 | 大腿骨近位部骨折を受傷して入院した患者への退院1年後アンケートの実施報告~二次予防プログラム実施前後での比較~ | 北川 真由 | 理学療法士 | 静岡リハビリテーション病院 |
| A-II-5 | 清水エスパルス U-16 GOTHIA CUP in Sweden に帯同して | 吉武 拓郎 | 理学療法士 | 静岡リウマチ整形外科リハビリ病院 |

A-III 15:10~16:10 (脳血管障害)

| | | | | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------------------------|
| A-III-1 | 平成27年度 静岡圏域地域リハビリテーション広域支援センターの取り組み紹介 ~静岡市と地域包括支援センターとの連携からみえた現状と課題~ | 清水 香澄 | 理学療法士 | 医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院 |
| A-III-2 | 「静岡圏域地域リハビリテーション広域支援センター」と「静岡市」と「地域包括支援センター」との連携事業 ~個別課題についての地域ケア会議に参加してみえた連携の現状~ | 石野 泰央 | 理学療法士 | 医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院 |
| A-III-3 | 中山間地域における地域リハビリテーション広域支援センターとの連携と課題 | 後藤 仁 | 社会福祉士 | 静岡市葵区藁科地域包括支援センター |
| A-III-4 | 介護予防事業における地域住民主体の集いの開催に向けた実践報告 | 小原 智永 | 理学療法士 | 医療法人社団聖稜会 聖稜リハビリテーション病院 |

一般演題 セッションB 5階 会議室

B-I 13:10~14:00 (地域リハ)

| | | | | |
|-------|---------------------------------------|--------|-------|-------------------------|
| B-I-1 | 当グループにおける小児リハビリテーションの取り組みについて | 小倉 知大 | 作業療法士 | フジ虎ノ門整形外科病院 |
| B-I-2 | 訪問リハを利用している脳損傷後の意欲低下に対し、自己効力感が向上した一症例 | 遠藤 直人 | 理学療法士 | 訪問リハビリテーション事業所 テラ |
| B-I-3 | 地域包括ケア病棟での離床時間を活用したレクリエーション | 三枝 茉由香 | 看護補助者 | JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院 |
| B-I-4 | 当院における高次脳機能障害者の自動車運転評価システムの紹介 | 齊藤 ふみ | 作業療法士 | 浜松市リハビリテーション病院 |
| B-I-5 | 入所中、退所後の運動機能から見る当施設での関わり方 | 田村 佳亮 | 理学療法士 | 介護老人保健施設エスコートタウン静岡 |

B-II 14:10~15:00

| | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------|--------|-----------|---------------------------|
| B-II-1 | セラピストと協働した「入浴ケア」の取り組みの報告 | 亀井 恵美子 | 看護師 | 浜松市リハビリテーション病院 |
| B-II-2 | トイレでの排泄を目指した自立支援 | 渡邊 友一郎 | 介護福祉士 | 介護老人保健施設 エスコートタウン静岡 |
| B-II-3 | 「死にたい」ともらした失語症患者に対する作業療法アプローチについて~“したい”の気持ちに対する段階付け、連続性を意識したかわり~ | 中嶋 祥一 | 作業療法士 | 聖稜リハビリテーション病院 |
| B-II-4 | デイサービスでできる介護予防(1事例を通して) | 下崎 るい | 介護職、生活相談員 | デイサービスセンター嘉響 |
| B-II-5 | 当事業所における入浴自立支援に関する取り組みと今後の展望 | 安齋 潤 | 理学療法士 | エスコートタウン静岡 通所リハビリテーションアース |

B-III 15:10~16:10 (病棟連携、家族支援)

| | | | | |
|---------|------------------------------------|--------|-------|----------------|
| B-III-1 | 「口腔機能向上プログラム」 一通所リハビリテーションにおける取り組み | 高木 佐余子 | 歯科衛生士 | 静清リハビリテーション病院 |
| B-III-2 | 間歇的経管栄養法の自立に向けた支援 | 田中 直美 | 看護師 | 浜松市リハビリテーション病院 |
| B-III-3 | 嚥下および口腔機能改善に向けたチームアプローチ | 村上 紀子 | 歯科衛生士 | エスコートタウン静岡 |